

3 exs., 姫路市の形海岸, 26. IX. 1986

本種は一般に採集しにくいコガネムシとされているが、実際には海浜や河川敷の砂地の植物根際を探すと普通と言っても良い位に各所で採集出来る。

本種の食性に関する詳しい報告を筆者は知らないが、筆者の採集経験および文献上のデータなどから推測すると腐敗植物質を好んで食しているようである。

兵庫県の新産地についてであるが、高橋氏も述べられている様に、瀬戸内側の海岸はコンクリートですっかり固められているので新たな産地の発見はなかなか困難と思われるが、日本海側の海岸、さらに大きな川の川源の砂地を調べれば本種は容易に見られることと思う。

なお、ついでであるが川西市の隣りの大阪府池田市桃園で、1986年5月26日にケンマグソコガネを2種採集しているので参考資料として記録しておく。

セマルケンマグソコガネ 2 exs.

ホソケンマグソコガネ *Trichiorhyssemus asperulus* (WATERHOUSE) 1 ex.

2種共、猪名川川岸の砂の中から採集したが、兵庫県側にも自然生息しているはずである。

ヤマトアオドウガネの採集例

田 中 稔

ヤマトアオドウガネ *Anomala japonica* ARROWの、採集例を報告する。

1 exs., 西宮市鳴尾町上田, 26 VI 1962, 田中稔採集

1 exs., 津名郡東浦町浦, 13 VIII 1980, 田中稔採集

鳴尾町の個体は、夜勤作業中に工場内の明りに飛来したもの。東浦町の個体は妻の実家の室上で、ブラックライトに多くのアオドウガネと共に飛来したものである。

本種の同定は図鑑を見てもハッキリせず自信がなかったが、先日、中田隆昭氏が遊びに来られた時に、標本箱のアオドウガネの中より選別同定していただいた。本誌をお借りして、同氏にお礼を申し上げる。